

今日の説教のポイント<エフェソの信徒への手紙1章1~2節>

①エフェソ書を読む理由 — 魅力的な言葉が一杯！

今日から月の前半、エフェソ書を読んでいきます。この書には、他のパウロの手紙にはない魅力的な表現が一杯出てきます。それはなぜかは後で話すとして、まずはその幾つかを紹介しておきます。

「ご自分の肉において敵意という隔ての壁を打ち壊し」(2:14)、「あなたがたはもはや、外国人でも寄留者でもなく、聖なる民に属する者、神の家族であり」(2:19)、「キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるか理解し」(3:18)、「あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい」(5:8)、「神の武具を身に着けなさい。立って、真理を帯として腰に締め、正義を胸当てとして着け、平和の福音を告げる準備を履物としなさい」(6:13-14)。

どうでしょう、これらを読むと、今の世界に生きる私たちも、現実の困難さから諦めかけていた理想を思い出し、それに向かってもう一度歩み出そうというような気持ちになるのではないのでしょうか？！

②「神様によって」 — このことが強さの秘訣！

ここで大事なことは、これが口だけではなく、こう語れるだけの確かな根拠もこの手紙の中で述べられているということです。一言で言うと、それはイエス・キリストによって示された神様の御旨にあります。「神の御心によってキリスト・イエスの使徒とされたパウロから」(1:1)、とあります。確かにパウロは神様によって選ばれ、御旨を示されました。だから、語る言葉も力強いのです。しかし、それはパウロだけに当てはまる特別なことなのではありません。私たちにも当てはまることです。なぜなら、私たちも、「神の御心によって」、パウロと同じ神様を信じるように導かれたのですから！

③パウロに示されたものと、その後示されたものを学べる！

さて、ではなぜこの書が他のパウロの手紙にはない魅力的な表現に満ちているのか？ それは、この書はパウロの信仰を継ぐ次の時代の信仰者が書いた文書だからです。パウロに示された神の御旨をしっかりと捉えつつ、それだけで終わらず、それに必然的に続く内容が魅力的に示されているからです。この書を読んでいきます、楽しみにして下さい！